

News Letter

自治医科大学地域医療オープンラボ

Vol.37, Sep, 2010

地域医療研究支援チーム（CRST）は何をするのか？

CRST リーダー、産婦人科学講座 松原 茂樹（東京都 2期）

地域で診療する医師が、「研究を開始したが、今のままの研究方法でよいのか？」と感じたり、「英文論文を書いたのだが、アクセプトさせられず草稿が眠っている」事態に陥っている事例を散見してきました。CRSTは、クライアントの要望に応じて、以上の状況を打破し、論文アクセプトまでを支援するボランティア集団です。CRST 構成員は自治医大卒業生・自治医大教員から成り、自らの研究・論文作成において辛酸をなめてきました。「こんなアドバイスや援助が得られたら、どんなによかっただろうに」との思いを抱いてきました。



CRST 構成員は研究・論文のプロ集団ではありませんが、1) 研究・論文作成が大好きで、2) 研究・論文で困っている地域の仲間を助きたい、との心根を持った善意の集団です。

以下に該当する方、「現在困っている方」、どうぞ気軽に声をかけて下さい。皆さんの研究・論文を拝見できることは私たちの知的好奇心をかき立てるでしょう。そして、1つでも2つでも論文が「ものになれば」素晴らしいですね。共に学び、伸びていきましょう。

1. 地域医療に携わる医師に対して、以下の研究支援をします。

- 1) 研究デザインのアドバイス
 - 2) 研究成績の論文化へのアドバイス
 - 3) 論文作成のアドバイスと援助
 - 4) すでに作成した論文をアクセプトさせるための援助
 - 5) その他、1) - 4) 関連事項
- 将来的には大規模研究の母体となることも考慮しています。

2. 支援してくれるのはだれですか？（CRST 構成員は？）

自治医大工学・さいたま医療センターの教員で本チームへの参加を希望する者。論文作成と研究遂行に手慣れた者。

3. 支援を受けられるのはだれですか？

地域医療関連医療を行っている者

- 1) 当初は、自治医大卒業生に限定する。筆頭著者（研究者）が自治医大卒業生であること。
- 2) 進展を見て、自治医大卒業生以外にも広げることが今後考慮する。

4. クライアント（援助して欲しい人）はどんな時に CRST への援助を求めたらいいか？

- 1) 研究を始めており、すでに preliminary data を得たが、このままの研究スタイルで良いかどうか分からない。
- 2) 症例報告を含む英文論文（以下英文論文）を執筆したが、どこの Journal へ出しているのかが分からない。
- 3) とりあえず英文論文を書いてみたが、投稿前にチェックしてほしい。
- 4) 英文論文が reject された。しかし、自分はその英文論文が価値ありと信じる。どこかの Journal へ出したい（再度トライしたい）
- 5) 投稿英文論文が revision を要求されたが、どうしたらいいかわからない。
- 6) 注意！何か研究をしてみたいが何をしたらいいかわからない場合は、学内研究者を紹介します。

5. クライアントはどう動いたらいいですか？

CRST 事務局 (openlabo@jichi.ac.jp) へご連絡ください。CRST HP : <http://www.jichi.ac.jp/dscm/CRST>

地域医療研究支援チーム
(CRST: Clinical Research Support Team in JMU)
2010年7月に設置されました。

CRSTとは

自治医大卒業生や地域医療従事者の研究活動を支援する「お節介集団」です。

- ・ 学内教員の有志で組織されています。
- ・ 活動はメーリングリストによる情報交換が中心です。
- ・ 教員の方へ：チームへの参加登録は無期限に受け付けています。
- ・ 卒業生の方へ：研究支援の希望があればいつでもご連絡ください。

連絡先：地域医療オープン・ラボ openlabo@jichi.ac.jp

(目的)

自治医科大学卒業生ならびに地域医療従事者の様々な研究活動を支援し、自治医科大学オリジナルな全国に展開する共同研究へと発展すること。

(位置付け)

地域医療学センター地域医療支援部門と大学院医学研究科地域医療オープン・ラボの共同事業として、学内教員有志により組織する。

(活動内容)

学会発表や論文作成、学位取得ならびに共同研究へとつなげていくための地域医療研究者支援と地域医療研究者の研究支援ニーズ把握ならびに学内外研究者のマッチング。

(メンバー)

松原茂樹 (チームリーダー：産婦人科学) 大口昭英 (サブリーダー：産婦人科学)
梶井英治 (地域医療学)、三澤吉雄 (心臓血管外科学)、尾身茂 (衛生行政学)、河野幹彦 (高脂血症・糖尿病)、出光俊郎 (皮膚科学)、谷口信行 (臨床検査医学)、中村好一 (公衆衛生学)、梯彰弘 (眼科学)、苅尾七臣 (循環器内科学)、平林由広 (麻酔科学)、五十嵐孝 (麻酔科学)、穂積康夫 (乳腺外科学)、玉田喜一 (消化器内科学)、村松慎一 (神経内科学・東洋医学)、石川鎮清 (地域医療学)、上原里程 (公衆衛生学)、俵藤正信 (消化器外科学)、江口和男 (循環器内科学)、藤村昭夫 (臨床薬理学)、安藤仁 (臨床薬理学)、丹波嘉一郎 (緩和医療)、森下義幸 (腎臓内科学)、為本浩至 (生化学)、小谷和彦 (臨床検査医学/公衆衛生学)、田中裕一 (脳神経外科学)、福嶋敬宜 (病理診断部)、布宮伸 (集中治療部)、山田俊幸 (臨床検査部・臨床検査医学)、永谷勝也 (アレルギー膠原病学)、市村恵一 (耳鼻咽喉科学)、坂本敦司 (法医学・地域医療政策)、草鹿元 (脳神経外科)、加計正文 (糖尿病・生活習慣病領域)、今野良 (産婦人科学)、白石裕比湖 (小児科学)、市橋光 (小児科学)、尾本きよか (臨床検査部・超音波診断学)、池田啓子 (細胞生物研究部)、亀崎豊実 (事務担当:地域医療学) (順不同) (2010.09.14 現在 41名：常時参加登録受付中)

【発行】自治医科大学大学院医学研究科

地域医療オープン・ラボ運営委員会

事務局 大学事務部学事課 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

TEL 0285-58-7477/FAX 0285-44-3625/e-mail openlabo@jichi.ac.jp

<http://www.jichi.ac.jp/graduate/index.htm>